



平成27年9月4日

各 位

上場会社名 株式会社ウエスコホールディングス  
 代表者 代表取締役社長 山地 弘  
 (コード番号 6091)  
 問合せ先責任者 経営管理本部長 井口 光宏  
 (TEL 086-254-6111)

## 連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年6月12日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,800	1,050	1,150	800	53.21
今回修正予想(B)	9,837	550	641	355	23.63
増減額(B-A)	△962	△499	△508	△444	
増減率(%)	△8.9	△47.6	△44.2	△55.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年7月期)	10,104	953	1,032	789	52.53

### 修正の理由

平成27年7月期連結業績について、売上高におきましては、当社グループの主力事業であるコンサルタント事業において、前期より、官公庁からの社会インフラの調査・点検関連業務の受注が堅調に推移していた状況を踏まえ、本年度も同様に推移する見込みであると予想しておりました。

さらに、前期からの今期への繰り越し業務量が前期に比べ、約2億円増加したことを勘案し、前期と同水準以上の売上高を達成すると予想いたしました。

しかしながら、大型業務の工期変更により、翌期への繰り越し業務量が前期と比較し、大幅な増加(売上高で約11億円の増加)となり、7月の売上高は当初の予想を大きく下回る見込みとなりました。

次に、営業利益、経常利益、当期純利益については、例年、業務の工期が第4四半期に集中するため、売上高が増加するものの、固定費(人件費、各種経費)は一定であるため、原価率が改善される傾向にありました。

しかしながら、当期では翌期に大型業務が繰り越されたことにより、売上高が減少し、人件費および人手不足による外注費が増加したことが影響し、原価率は当初予想より4%上昇いたしました結果、段階利益で3億円程度の減益の見込みとなりました。なお、当社における原価(製造原価)は、人件費、外注費、計測機器購入費用、社屋等維持管理費用、材料費等が含まれます。

これらの要因により、営業利益、経常利益、当期純利益は、当初予想より大きく減少する見込みとなりましたため、連結業績予想を修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
前回予想 (平成27年6月12日発表)	—	—	—	7.00	7.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年7月期)	—	—	—	7.00	7.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要事項と認識しており、配当政策につきましては企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保に意を用いつつ、当社グループの業績に応じた利益配分を安定かつ継続的に行うことを基本方針としております。

上記の方針に鑑み、上記業績予想の修正、財務状況等を総合的に勘案し、慎重に検討させていただいた結果、当期の期末配当金は1株当たり1円を増配した8円とさせていただきます。

この結果、平成27年7月期の年間配当金は8円となります。なお、本件につきましては、平成27年10月開催の第2回定時株主総会に付議する予定です。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上